

2019年9月20日

第14回 揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況に関する フォローアップ調査結果

日本製紙連合会

日本製紙連合会の環境行動計画では、環境リスク問題への対応として「化学物質のリスク管理」を掲げている。これに関連して、揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況を確認するため、本年4月に2019年度フォローアップ調査を実施した。

なお、従来はVOCのうち年間総排出量が多かった5物質（トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール）を排出管理の対象としていたが、第7回調査からは全ての物質を対象としている。

1. 調査項目

調査対象：46社124工場（会員会社30社及び一部関連会社、未回答：1社1工場）
調査年度：2000年度（基準年度）及び2004～2018年度
調査項目：工場・事業所別の全てのVOCの使用量及び排出量

2. 調査結果

(1)全国の排出について（結果を表1及び図1、2に示す）

2018年度の排出量の削減率は87.8%であり、大気汚染防止法上のVOC排出抑制の目標とされていた「2000年度比3割程度削減」を十分に達成している。また、経済産業省産業構造審議会が定めた自主的取組促進のための指針に掲げられた「2010年度比で悪化しないように取り組む」も達成している。

表1) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：67物質）

(単位:トン)

		2000年度		2010年度		2017年度		2018年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	17,612	9,633	16,503	1,305	13,125	1,200	13,731	1,178
	削減率			86.5%		87.5%		87.8%	

参考) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：5物質）

(単位:トン)

		2000年度		2010年度		2017年度		2018年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	15,054	9,355	14,439	1,196	12,174	1,014	12,896	1,020
	削減率			87.2%		89.2%		89.1%	

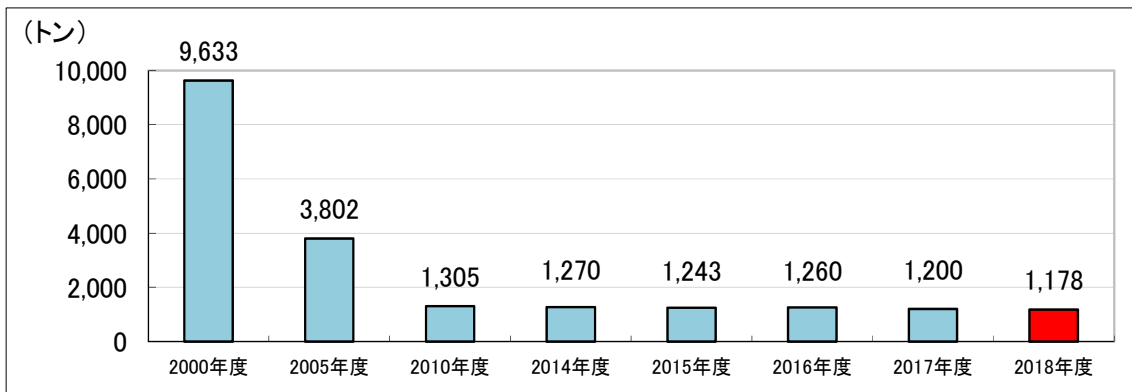


図 1) 全国の排出量推移

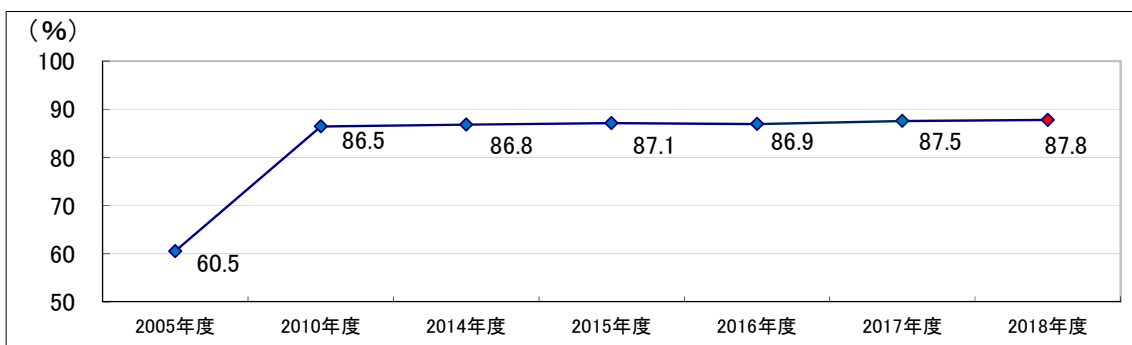


図 2) 全国の削減率推移

(2)参考：関東地区（結果を表 2 及び図 3、4 に示す）

産業構造審議会が定めた「自主的取組促進のための指針」では、可能な範囲で関東、中部、関西の 3 大地域の排出量の推計を求めている。当業界では中部、関西地区における対象事業所では VOC 排出量がわずかのため、関東地区だけを参考指標としてフォローアップしている。

表 2) 関東地区の年度別使用量及び排出量（対象：67 物質）

(単位:トン)

		2000年度		2010年度		2017年度		2018年度	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
関東地区	合計	3,634	2,054	2,861	281	3,087	307	3,348	331
	削減率			86.3%		85.0%		83.9%	

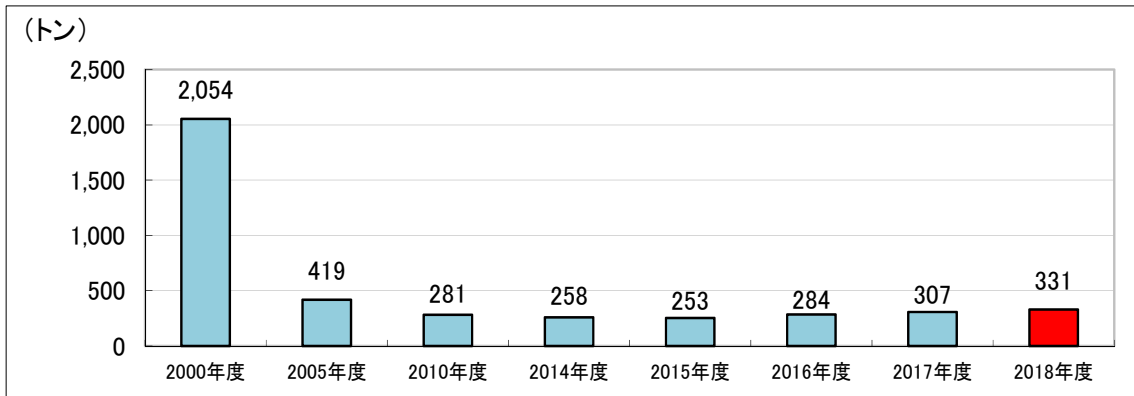


図 3) 関東地区の排出量推移

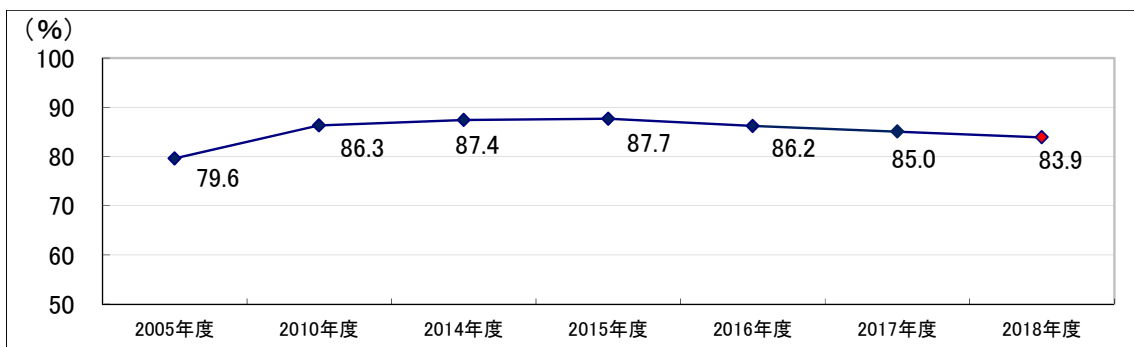


図 4) 関東地区の削減率推移

3. 2019年度以降の取り組みについて

VOC 成分の少ない薬品への代替や製造工程の管理強化等により、引き続き全ての VOC 排出抑制に努め、削減率の維持を図る。

以上